

The background of the entire page is a dark blue, high-tech graphic. It features a network of glowing white lines and dots, resembling a data center or a complex web. In the center, there is a large, stylized, pixelated blue shape that looks like a cloud or a mountain. Below this, the text "NUTANIX" is written in white, with a green "X" and a small "TM" trademark symbol. Below the logo, the text "HOW TO SUCCEED WITH" is in white, followed by "PRIVATE" and "CLOUD" in very large, bold, white letters. At the bottom, there is a green horizontal bar with the Japanese text "8つの実際の成功例" in white.

NUTANIXTM

HOW TO SUCCEED WITH
PRIVATE
CLOUD

8つの実際の成功例

JETBLUE がクラウドへ羽ばたく



04

06



BOTTOMLINE TECHNOLOGIES
スマートな財務決定を下す

TREK BIKES がプライベートクラウドで
開いた新境地



08

10



スウィンバーン工科大学 が学生向けの
セルフサービスを拡張

VIDAXL がハイブリッドクラウドで
土台を構築



12

14



徳洲会インフォメーションシステム が作る
フリクションレスなクラウド

州官庁
がプライベートクラウドを実装



16

17



ヘルスケア管理 組織が 改善した
クラウドによる治療

プライベートクラウドの成功のための チェックリスト



18

社内に パブリッククラウド の力を持ち込む

ますます多くの企業が、クラウドに移行して**俊敏性**、**拡張性**、そして **シンプルさ**を実現しようとしています。しかし、全く同一のモデルが全企業に適切というわけではありません。また、企業は管理機能とセキュリティを犠牲にするわけにはいかないため、パブリッククラウドに全力を投じるアプローチは必ずしも適切ではありません。

そこで、ハイブリッドクラウドが妥協点となりますが、そこに到達するには土台として強力なプライベートクラウドが必要となります。業界トップのハイパーコンバージドインフラストラクチャーをベースに構築されたNutanixのプライベートクラウドソリューションは、アプリケーション、サービス、そしてデータを提供して急速に拡張する上での重要な第一歩の役目を果たします。こうして、オートメーションとセルフサービス機能を備えた企業は、ベンダーロックインに陥ることなく、依然としてパブリッククラウドの恩恵を受けることができます。

本eBookでは、航空業界のリーダーJetBlueや、学生の視点に精通したスウィンバーン工科大学など、実際にこうしたメリットを実現した組織の例を紹介します。

Nutanixは、3年連続でガートナー社によるハイパーコンバージドインフラストラクチャー分野のマジック・クアドラントでリーダーに選出されたことを誇りに思います。お客様への感謝の気持ちで一杯です。

JETBLUE

jetBlue
AIRWAYS®



会社情報

全米で6番目に大きな航空会社であるJetBlueは、1日平均1,000便を運航し、100以上の都市に4,000万人の乗客を運んでいます。



課題

別のソリューションを用いてデータセンターをアウトソーシングしていたJetBlueは、事業の成長に追いつくことができず、遅延に直面していたことに気がきました。



ソリューション

あらゆるミッションクリティカルなアプリケーション向けに迅速かつフリクシオンレスな拡張性とサポートを提供する、強力なパートナーシップ。

JETBLUEがクラウド に向かって羽ばたく

JetBlueは、1日あたり平均して1,000便を連日運航しており、米国、カリブ諸国、そして南米の都市に乗客を運んでいます。そして、「カスタマーエクスペリエンス重視」という会社のモットーを維持するには、これまでのインフラストラクチャーソリューションのままで稼働し続けることができないと気づきました。ITインフラストラクチャー部ゼネラルマネージャーのDan Fellitz氏は、複雑なインフラストラクチャー管理、劣悪な拡張性、長々としたアプリケーションロールアウトの遅延、およびその他の数々の厄介な問題に直面していた最中、Nutanixに注目しました。

話は次のように進みました: Citrix SynergyカンファレンスでNutanixと接触したFeliz氏は、その時の第一印象を忘れることができなかったと言います。「正直なところ、Nutanixのソリューションは余りにも理想的すぎて、眉唾物であると思ったのです。そこで、Citrixアカウントチームと話をしたところ、彼らもNutanixが当社のVDI展開にとって素晴らしい選択になると同意したのです。」

Nutanixを展開した当初、Feliz氏は驚きの気持ちで一杯でしたが、今ではそのプラットフォームの信奉者になっています。

「弊社のミッションクリティカルなシステムとアプリケーションの多くは、CitrixとNutanixで動作しています。この点からも、Nutanix Enterprise Cloudプラットフォームに対する私たちの信頼をうかがえるのではないのでしょうか。」

最近では、Nutanixのプライベートクラウドはシステムとアプリケーションの実行以上のことを担当しています。JetBlueは、CitrixベースのVDIとホスト型アプリケーションの高い可用性を確保できています。また、Nutanixのクラウドの扱いやすさのおかげで、インフラストラクチャー管理とIT運用はワンクリックで実現できます。JetBlueは、将来に高い期待を抱いています。「Nutanixの素晴らしさに対して、ITチームからシニアリーダーに至るまでの誰もが大いに興奮を感じています。」

利点

- 簡単に迅速な展開。最初のクラスタは20分以内にセットアップ完了。
- 管理のサイロを排除し、そのインフラストラクチャースタックに対する統一的視点を提供。より価値の高いプロジェクトに集中できるよう管理者を負担から解放。
- 複数層のデータ冗長性によって24時間365日の可用性を達成し、どのような状況であっても事業継続性を確保。

ケーススタディを読む | 動画を視聴する



BOTTOMLINE TECHNOLOGIES



会社情報

Bottomline Technologies は、世界最大規模の銀行を含めた、あらゆる種類の事業にとって複雑になりがちなビジネス決済をシンプルかつセキュアに実施するべくサポートします。



課題

複雑なレガシーサーバーと SANストレージに苦しんでいた Bottomline Technologiesは、より拡張性の高い、セキュアな選択肢に注目しました。



ソリューション

決済処理をクラウドに移行して、米国の3,000人以上のユーザー向けにExchange Server環境を構築しました。

BOTTOMLINE TECHNOLOGIES、 賢い投資判断を下す

ビジネス決済オートメーション大手のBottomline Technologiesは、革新的でクラウドベースな決済プロジェクトを新しい方法で立ち上げられないかと模索しながらも、既存のレガシーサーバーとSANストレージでは期待に応えられないと分かっていました。求めていたのは、セキュアかつ拡張可能、また急速に変化して常に成長を続けるイニシアティブをサポートできる、クラウドベースの選択肢でした。

しかし、顧客の支払い情報を取扱う業務であったため、データの安全性を保護できるソリューションが必要でした。Bottomlineにとって、イノベーションとセキュリティの面で最高の結果をもたらすことができるのは、Nutanixでした。インフラストラクチャー部長のPeter Marshall氏は、次のように述べています。「顧客から見れば、決済処理は全てクラウドで行われているわけです。しかし、そのクラウドはBottomlineのデータセンターにしまい込まれているため、パブリッククラウドプラットフォームに関連したセキュリティ、ガバナンス、そしてコンプライアンス上の問題は一切ありませんでした。」

そして、Nutanixのソリューションに対するMarshall氏の信頼は次の言葉に現れています。

「私は、Nutanix Enterprise Cloudプラットフォームの展開スピードとそのインターフェースの双方に常に感心しています。」

Bottomline Technologiesにとって、顧客を喜ばせることは重要なインセンティブでした。そのため、サービスデリバリーの加速化、パフォーマンス改善、そしてデータセンターセキュリティの増大は、カスタマーエクスペリエンスに有意な変化をもたらしました。ただし、変化はこれだけに留まりません。Marshall氏は、次のように述べています。「...(私は) 組織全体でNutanixを積極的に推進しており、求められればどこへでも足を運んで、他にもエンタープライズクラウドソリューションの用途がないか見つけたいと思っています。」



利点

- 顧客を新しいPT-Xソリューションに移行し、顧客の60%はクラウドベースの決済サービスへの移行を選択。
- 顧客は、スループット率の200%改善を報告した他、Nutanixプラットフォームにおける飛躍的に高速化された取引を実現。
- 単一の統合インターフェースを使用したシンプルな集中型管理によって、専属のIT専門家の必要性が減少。

ケーススタディを読む

TREK BIKES



会社情報

Trekは、ヘルメット、靴、サドルなど、ワールドクラスの自転車とギアを製造する、創業40年の家族経営の会社です。



課題

Trekがそれまで使用していたレガシーサーバーのストレージ環境では、先行投資が高額でありながら、パフォーマンスは劣悪で一貫性を欠き、管理も困難でした。



ソリューション

会社のイノベーションとパフォーマンスイニシアティブに相応しい俊敏なクラウドソリューションによって、中断なく1日以内にワークロードを移行させました。

TREK BIKESの 新境地を開いた プライベートクラウド

Trek Bikes は、自転車の乗車エクスペリエンス をさらに楽しむための、常に新しい、エキサイティングな方法を追い求めています。世界的に有名な自転車の製造から、高品質なアクセサリーの開発に至るまでを担当するTrek Bikesは、魅力あふれる会社です。グローバルセキュリティ・インフラストラクチャー 部長のDane Sandersern氏は、次のようにまで述べています。「Trekという会社の本当の魅力は、人々に柔軟な楽しみ方を提案できる力にあります。」

しかし、そのレガシーストレージ環境はTrekの想像力と目標に見合うものではありませんでした。先行投資は高額であった上、Trekが必要としていたパフォーマンス基準も満たせず、その管理は苦痛でした。必要としていたのは、もっと簡単であり、オンプレミスに構築できる性能でした。

Nutanixには、正にTrekが必要としているものが備わっていました。シニアエンタープライズITアーキテクトのBrian Oamek氏は、あるNutanixエンジニアのおかげで「エンドユーザーが中断を経験することなく、日中にレガシーインフラストラクチャーからNutanixへとあらゆるワークロードを移行できました」と言います。社内チームが素晴らしい恩恵を得ることができた点は、言うまでもありません。

「Nutanixのおかげで、社員には自転車に乗って外に出る余裕ができました。データセンターで常に「火消し」作業に追われずに済むため、社員は平日でも自転車にのって、丸1時間の休憩をたっぷり楽しんで、外の新鮮な空気を吸うことができるのです。」

インフラストラクチャーに対する深い可視性、1-クリックの容易な拡張性、そしてワークライフバランスの改善によって、Trekは未来を目指して自信たっぷりにペダルをこぎ続けることができます。Nutanixのプライベートクラウドに圧倒的な信頼を寄せるOamek氏は、次のように述べました。「仮に、今日Nutanixを停止した場合、Trekは廃業することになると本気で思っています。」



利点

- プライベートクラウドの展開、保守、そして管理におけるIT部門の生産性と効率性を高め、煩わしい管理タスクからITリソースを解放。
- インフラストラクチャー統合によってラックサイズと電力消費を削減し、コロケーション費用を75%カット。
- 「単純に業務を実現する」システムによって、従業員の定着率を改善。チームは新しいインフラストラクチャーでの業務を快適だと感じており、切替後の離職率は0という結果に。

[ケーススタディを読む](#) | [動画を視聴する](#)



会社情報

スウィンバーン工科大学は、イノベーション、業界におけるエンゲージメント、そしてソーシャルインクルージョンを専門とする、世界大学ランキングにも名を連ねるオーストラリアの大学です。



課題

複雑なマルチベンダー環境にとらわれていたスウィンバーン工科大学は、常に変化する学生の要求に合わせて拡張・サポートすることが困難になっていました。



ソリューション

容易に管理可能で拡張性に優れた、ハイパーコンバージドインフラストラクチャーのプライベートクラウドに切り換えたことで、オートメーションとセルフサービスを実現しました。

スウィンバーン工科大学、 セルフサービスを拡張して 学生の要求に対応

オーストラリアのスウィンバーン工科大学は、イノベーション、エンゲージメント、そして学生のエンパワメントに関して常に大きな目標を掲げてきました。しかし、その老朽化した、際限なく複雑な環境では、こうした目標に合わせて拡張することが不可能でした。必要としていたのは真のハイブリッドクラウドモデルであり、その土台となるのは、まずセキュアかつ効率的なプライベートクラウドでした。

どのようにして実現したのか見てみましょう。スウィンバーン工科大学はNutanixを利用したことで、管理スタッフ（そして学生たち）の生活を大幅にシンプルにするオートメーション性能を完備した、包括的なプライベートクラウドを構築することができました。ITディレクターのSimon Naughton氏は、パブリッククラウドにもメリットがあるものの、日常的な業務にはプライベートクラウドの方が使い勝手が良いとまで述べています。「異なるクラウド環境で利用できるアプリをクリック1つで作成できる、Nutanixの画期的な性能は私たちにとって革新的でした。今もまだ、そのプラスの影響を実感し始めている状況です。」

一番の功績は、Nutanixが学生にもたらした成果です。

「Nutanixは、当社の一連のセルフサービスの一部になりました。おかげで学生は、自分たちのプロジェクトに必要な開発スタックを参照・選定し、App ストア同様に1-クリックで展開できるのです。」

スウィンバーン工科大学は、独自のデータセンター内でパブリッククラウドの力を活かし、真のハイブリッドクラウドの俊敏性とセキュリティを達成しました。Naughton氏は次のように述べています。「Nutanixは、学生たちによる我が校のサービスの「集中的」な利用に対応し始めています。」そして、今後Nutanixがスウィンバーン工科大学と共に成長するにつれて、大学がどのように進化し、新たな成果を実現できるようになるのか、Naughton氏は楽しみにしています。

利点

- 学生が設計したプロジェクト向けに自動化されたプラットフォームを開発。学生は、クリック1つで開発スタックを選択して開発可能。
- ITチームが予測可能な支出モデルでスタック上層部に取り組めるよう、その負担を減らして、より公正かつ効果的なリソースプロビジョニングを実現。
- どこに時間を費やしているのか、どのワークロードを自動化するべきか、そしてどれが人間の介入を必要としているのか、より優れた特定と評価を実現。

ケーススタディを読む





会社情報

国際的なオンライン小売業者のvidaXLは、オランダを拠点に欧州、オーストラリア、そして米国全土に複数のフルフィルメントセンターを抱えています。



課題

既存のITインフラストラクチャーは信頼性が低く断片化しており、管理が難しい他、何よりもvidaXLがビジネス需要を満たす能力を損ねていました。



ソリューション

拡張可能でシンプル、そして高信頼性のプライベートクラウドを構築して、最善のパブリッククラウドサービスを備えたハイブリッドクラウドへと引き上げました。

VIDAXLは土台を築いて ハイブリッドクラウドを構築

昔々、vidaXLは、国際的なオンライン小売業者になることを夢見ていた2人組がオランダで始めたスタートアップでした。現在は、数多くの国々に複数のフルフィルメントセンターを抱え、正にこの夢を実現させたと言えます。しかし、ITマネージャーのBart van Es氏は、会社のサイロ化かつ断片化したITインフラストラクチャーでは簡単に成長を実現することができないことを分かっていた。異種のハードウェアプラットフォームのテーマに関して、彼は次のように述べています。「1日あたりに処理する注文数は20,000件以上。この数もさらに増加しており、ITに依存している当社にとっては大きな問題でした。」

そこで、彼らはワークロード（主にSAPアプリケーションとデータベース）をホスティングするプライベートクラウドを開発し、顧客対応ウェブサイト向けにハイブリッドクラウドを構築するための行動計画を策定しました。既にNutanix Enterprise Cloudパイロット版を稼働させていたため、意を決してNutanixで戦略を実践することにした2人は、「Nutanixに対処できないワークロードはありませんでした。」と述べています。

さらに、Van Es氏は、以前のソリューションで抱えていた問題点をNutanixが解消してくれたと言います。

「Nutanix Enterprise Cloud プラットフォームでプライベートクラウドを構築したことで、以前の多岐にわたる、断片化したITインフラストラクチャーにまつわるパフォーマンス、拡張性、マネージメント、そしてサポートの問題に対処できるようになったのです。」

簡略化されたサポートチェーン、プライベートクラウドに関する見事なコスト節約、そして強力なビルトインのクラウド統合ツールを備えた今のvidaXLにとって、不可能は存在しないようだと断言でしょう。Van Es氏が述べるように、チームは自分のスケジュールでより多くのことを成し遂げる自由を手に入れることができたのです。「Nutanixのプライベートクラウドであれば、こちらから手を加える必要性がほとんどないため、私たちはワークロードの微調整に必要な、少し考える時間を手に入れることができました。」



利点

- プライベートクラウドによるコスト節約、ラックスペースの縮小、保守、電力、そして冷却コストの大幅削減。
- ビルトインのプライベートクラウドツールを備えた高パフォーマンスのハイブリッドクラウドを開発したことで、パブリッククラウドサービスとの統合を実現。
- Prism Central管理コンソールを利用した、分散型プライベートクラウドにまたがる物理的および仮想資源の統合管理。

[ケーススタディを読む](#) | [動画を視聴する](#)

徳洲会 インフォメーション システム

 Tokushukai Information System Inc.



会社情報

徳洲会グループは、日本全国の71の病院、さらに340のクリニック、老人ホーム、そして介護施設と福祉施設の運営を行っています。



課題

徳洲会グループにとって、電子カルテシステムがオフラインになることは絶対に許されません。そこで、できる限りゼロダウンタイムを実現できる、確実性の高いプラットフォームを求めています。



ソリューション

複雑な3tier構成からハイパーコンバージドインフラストラクチャーのプライベートクラウドに移行しました。

徳洲会 インフォメーション システムが作る フリクションレスな クラウド

徳洲会インフォメーションシステムは、日本全国の71の病院、さらに340のクリニック、老人ホーム、そして介護施設と福祉施設の運営を行っており、沢山の業務を管理しています。また、同インフォメーションシステムの母体である徳洲会グループは、PACS、人事および給与システム、薬剤および原料発注システムの他にも、多数の業務の展開・運営を行っています。代表取締役を務める尾崎勝彦氏は、最終的に自社のIT環境が機能していないという判断に至りました。

「各タスクに運用サーバーがあるため、全てのハードウェアを管理するのは困難です。そこで、全てを効率的に集中管理できる方法を見つけ出す必要がありました。」同社が新しいソリューションに求めたのは、集中管理ペイン、最小限のダウンタイム、そして手間のかからないアップグレードなどでした。Nutanixは、こうした点を全てクリアした上、より多くのメリットを届けることができました。

「特定のベンダーに依存せずに済むため、私たちは柔軟に環境を構築しながら、費用対効果についても配慮することができました。これは、Nutanix以外では実現できませんでした。」

取締役・導入管理部長を務める高橋則之氏は、実現した数あるメリットの中でも、Nutanixプライベートクラウドによる常時可動性を確保した事業継続性に最も感謝していると言います。高橋氏は、次のように述べています。「院内業務において、電子カルテシステムがオフラインになる事態は絶対に許されないので。」現在、そのクラウドが常時保護されていることを知った徳洲会グループは、ようやく安心した日々を過ごせるようになりました。



利点

- 多様な業務に用いられる個別のサーバーを容易に集中管理可能。
- ミッションクリティカルなシステムに関するダウンタイムを最小限に留め、常時可動性の生産性を実現。
- 手間のかからない、迅速なアップグレードに対応した新しいインフラストラクチャー環境を構築。

ケーススタディを読む

州官庁が プライベートクラウドを実装



会社情報

米国中西部を拠点に構えたこの監査局は、州全域に800人以上のスタッフを抱え、5,000以上の都市、郡、学校などを含めた、あらゆる官公庁の監査を担当しています。



課題

この州では、クラウドファーストモデルを採用していたものの、より性能の良い、費用対効果に優れた選択肢に加え、そのワークロードをどこで稼働するのかという点について明確な方向性を必要としていました。加えて、利用していたのは管理が難しい3tierソリューションでした。



ソリューション

一般的なワークロード、ミッションクリティカルな財務アプリケーション、そしてファイルサービスをサポートするため、本番環境およびディザスタリカバリ用にNutanixプライベートクラウドを実装。

州官庁が ハイブリッドクラウド を実装

この官公庁では州全域に適用されるポリシーを実装して、全ての局をクラウドに移行したものの、彼らは「クラウドに移行」が実際には何を意味するのか明確な答えを必要としており、オンプレミス型プライベートクラウドが自分たちのニーズを満たすのか自問していました。分析を行った結果、クラウドベンダーの価格範囲は1万ドルから3万ドルにおよぶことが分かりました。そこで、ワークロードは主に予測可能であり、リニアな成長を示している点を考慮して、他の選択肢でも対応可能か調べることにしました。

現地のサミットでNutanixと接触したCIOは、ベンダーロックインさえなければプライベートクラウドが素晴らしい選択肢となりうるという判断に至りました。PoC（概念実証）の実施後、彼らはNutanixの実行がいかに簡単か実感することができました。中でも注目すべきは、1-クリックのライフサイクル管理とアップグレードでした。これによって、Nutanixの評価は一層高まることになったのです。また、Nutanixを立ち上げて稼働するにあたって、LUN、ストレージコンテナ、またはデータストアをセットアップする必要もありません。

最終的な決定要因は何だったのでしょうか？それは、将来的なハイブリッドクラウドイニシアティブへのスタートを切るにあたって、Nutanixクラスが突破口になると気付いたためでした。今では、この官公庁は財務アプリケーション、VM、20TBのファイル、そしてアクティブディレクトリをサポートできます。彼らは、**ネットワークトラフィックを85%削減し、IT管理を合理化**することができました。いずれは、Nutanixでハイブリッドクラウドを構築したいと考えています。



利点

- ミッションクリティカルからVMに至る、あらゆるアプリケーションとワークロードをサポート。
- 純粋なプライベートクラウドの提供機能に対する、コスト節約と管理のシンプルさの増大。
- 集中管理プレーンによる容易に構築可能なハイブリッドクラウド。

あるヘルスケア 管理組織が改善した クラウドによる治療



会社情報

ある全国的なケアマネジメントおよび品質向上組織が、不要なヘルスケアの利用を削減し、患者ケアを最適化しました。



課題

親会社はクラウドファーストモデルで運営していたため、同組織はNutanix環境を拡張することができませんでした。



ソリューション

現在の環境をアップグレードして、Prism Pro、AOS、Files、ハイブリッドクラウド用Clusters、そして直近のマイクロセグメンテーション用にFlowを含めました。

あるヘルスケア 管理組織が高めた クラウドでの治療

既にNutanixの顧客であったこのヘルスケア管理組織は、その環境を拡張して、成長し続ける顧客基盤をサポートしたいという大きな目標を掲げていました。ところが最近親会社を買収され、親会社がクラウドファーストを採用こうした計画は行き詰っていました。

パブリッククラウドの消費モデルは季節的または集中的なワークロードに最適のため、同組織の非常に予測可能なワークロードをパブリッククラウドで稼働してもほとんど意味を成しません。論理的に考えて、次の戦略は効率性、俊敏性、高信頼性、そして長期的なコストの予測可能性を計算に入れながら、対象となる各環境の総所有コストを算出することでした。

5年間の総所有コストを算出した結果、設備投資と運用コストの組み合わせに目を向けた場合、Nutanixは大手クラウドベンダーの1社よりも **83%安価** であることが分かりました。キャッシュフローの合計節約額は、約240万ドルに達しました。当然、こうした数値は同組織に好印象を与え、親会社がそのクラウドファーストモデルを再評価するまでにそう時間はかかりませんでした。現在は、**子会社の全ポートフォリオにわたってNutanixを導入した場合** の再評価が検討されています。



利点

- 従来型3tierからNutanixへと追加のワークロードを統合し、さらにシンプルな環境を実現。
- オンプレミスおよびパブリッククラウドを自由かつ容易に集中管理可能。
- Nutanixで5年間にわたって85%のコスト削減を実現。

プライベートクラウド の成功に向けた チェックリスト

「正しいプライベートクラウドの導入」をご希望ですか？これまで、他社の導入方法を検証してきましたが、ヒントの見落としが無いよう以下にベストプラクティスの要約を掲載しておきます。

- **プライベートクラウド優先リスト**を作成しましょう。どのような提供機能や性能をご希望ですか？どのようにご利用予定ですか？こうした点を把握することで、事業と共に成長可能な、ビジネスに適したクラウドを構築できます。
- プライベートクラウドは**ハイパーコンバージドインフラストラクチャー**をコアに据えて構築しましょう。結局のところ、クラウドの性能はその土台で決まります。最高のベンダーを見つけるには、必ず**ガートナー社のマジック・クアドラント**を参照しましょう。
- 現在パブリッククラウドを利用しているのであれば、少しずつ**ワークロードとアプリケーションを移行**しましょう。こうすることで、どちらのクラウドで何が上手く機能しているのか追跡できます。
- **最適化および自動化ツール**の実装により、管理の複雑さを排除して、クラウドに対する完全な可視性を手に入れましょう。**Nutanix Xi Beam** は、出発点として最適です。
- プライベートクラウド運用を標準化して、**クラウドリソースをより優れた形で提供して管理**しましょう。**Nutanix Calm** にお任せください。
- **集中管理プレーン**を採用して、単一の扱いやすいインターフェースでインフラストラクチャーとクラウドを監視しましょう。本eBookに掲載した組織の多くは、**Nutanix Prism** でワークロードの簡略化と合理化を実現しています。
- パブリッククラウドに拡張してハイブリッドクラウドアーキテクチャーを構築したい場合は、必ず両方のクラウドでリソースの集中管理が可能な、単一の**クラウドオペレーティングシステム (OS)**を必ず選択してください。

クラウドに関するスマートな 意思決定を下す準備はできましたか？

当社はお客様の判断を最後までサポートします。Nutanixは、世界中の様々な業界における12,000以上の顧客をサポートしています。自社データセンター内でクラウドの力を活かしつつ、オンプレミスで必要となるコントロールとセキュリティを維持できるよう、私たちがお手伝いします。

業界トップのハイパーコンバージドプラットフォームにプライベートクラウドを構築した場合、何が可能となるのかご覧ください。
今すぐ無料テストドライブを開始する

NUTANIX™

©2020 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本eBookに掲載されたあらゆる製品およびサービス名は、米国およびその他の国においてNutanix, Inc.の登録商標または商標となります。本文書に記載された、その他のブランド名は全て、識別目的のみに使用されており、それぞれの所有者の商標となります。